

職員インタビュー（２） 【地域振興局 Ｂさん】

プロフィール

職種：一般事務

採用：令和４年度

障害の内容：聴覚障害

現在の業務：地域振興局 SNS 等における観光・イベント情報の発信

仕事について

Ｑ１ 仕事でやりがいを感じること

- ・ SNS 掲載写真を自分で撮影することがあり、一目で惹かれる写真を意識した結果、多くの反応をいただけた時が特に嬉しいです。
- ・ 周りの職員にサポートしてもらうことも多いですが、助けてもらう分自分が少しでも業務に関わり貢献できる場面が増えるとやりがいを感じます。

Ｑ２ 仕事の中で難しく感じていることや大変だったこと

- ・ 研修のグループワークや複数人での打ち合わせで情報に追いつかない場面があることです。話す際に、音声文字変換アプリと接続できる小型マイクを回してもらっていますが、会話が盛り上がると次の人にマイクを回すのを忘れられてしまうことがあります。文字起こしがうまくいかず、会話についていけなくなるので、自分から声がけをしてマイクを回してもらったり、情報整理の時間を設けたりしています。

Ｑ３ 仕事をする上で心がけていることや、工夫していること

- ・ 仕事で初めて関わる人には必ず自分の障害を開示し、音声文字変換アプリを使用する旨を伝えています。
- ・ 異動で職員が入れ替わる際に、自分の障害と業務上必要な配慮をまとめたワンペーパーを課内に展開しています。

職場について

Ｑ１ 県職員として働いてみての印象は

- ・ 入庁時は自分の障害について理解してもらえるか心配でしたが、必要な配慮を丁寧に説明することでしっかりと対応していただきありがたいです。
- ・ 他部局と連携する業務も多くあるのですが、入庁時にチャットツールの導入もちょうど進められていたため、チャットを活用して他部局の担当者と気軽にやりとりをすることができてとても助かっています。

Q 2 職場のサポートについて

- ・電話ができないため、チーム員に電話対応をお願いしています。
- ・行政用語など日常生活で聞き慣れない言葉もあるため、情報共有はなるべくチャットや音声文字変換アプリを活用して、文字情報として共有してもらうようお願いしています。

今後の目標について

Q 1 今後の目標や挑戦してみたいこと

- ・幅広い業務に携わることが県庁の魅力でもあるので、障害を有していても試行錯誤しながら様々な業務に関わり、経験を重ねていきたいです。

職場からの声

- ・多様な視点やスキルで意欲的に仕事を進め、他の職員の良い刺激となっています。本人が活躍できる職場づくりを目指し、コミュニケーションや仕事の進め方、適切な業務など課内で話し合いながらサポートしています。